



図書館サポーターズだより

明日に吹く風



新年明けましておめでとうございます。まだまだ寒い日が続きますが、寒さに負けずに良い一年のスタートをきりましょう。新たな気持ちとともに、新たな本を手にとってみるのも良いかもしれません。今回も図書館サポーターズがおススメ本を紹介します！

～図書館サポーター推薦図書～

『四畳半タイムマシンブルース』

森見 登美彦 著(913.6 || Mo54)



皆さんは、大学生活をどのように過ごしていますか？今回は、大学生活と非日常が合体した小説を紹介します。この本は、下鴨の学生アパートに住む主人公“私”と住人達や友人が壊れたエアコンのリモコンを直すべく、アパート内で発見したタイムマシンに乗って過去と未来を行き来する物語です。特に、悪友である小津や同じアパートの2階に住む樋口さんなどの愉快的やり取りが面白く、見所の一つです。私は、この本を読んで「人は己の信じる道を走らねばならぬ。妥協や従属に価値はない。」という一文が前に進む勇気が出る言葉だと思い、感銘を受けました。

昨年の9月にはアニメ映画が上映された作品。ぜひ、この本を読んで素敵な大学生活を送るアイデアを考えてみてください！ (S. K)

『月曜日の抹茶カフェ』

青山 美智子 著 (913.6 || A58)



抹茶はお好きですか？抹茶ラテ、抹茶アイス、抹茶プリン etc.…。私自身も抹茶を使ったお菓子は大好きですし、抹茶を立てて飲んだこともあります。

さて、今回ご紹介する本は抹茶カフェ、という言葉に惹かれて選んだ「月曜日の抹茶カフェ」です。抹茶カフェを舞台にした本、というわけではなく、抹茶カフェから始まる『縁』を題材にしています。1冊のなかに12のお話が詰まっており、1話20ページ前後で綴られています。この本で綴られる縁は人と人だけではなく、動物、物、想い、様々なものが繋がり1つの物語を生み出しています。普段、意識しないと気づかないような繋がりのある温かさを感じてもらえたら良いな、と思います。 (H. T)



『妖怪アパートの幽雅な日常』

香月 日輪 著 (913.6 || Ko99||1)



皆さんは幽霊や妖怪を信じますか？この物語は人間、妖怪、幽霊などが集まる摩訶不思議な妖怪アパートに主人公・夕士が暮らすようになる事から始まります。そこに住むのは、人間や妖怪、幽霊もいて、職業や性格も違います。しかし、温かく主人公たちの成長を見守ってくれたり、背中を押してくれる、やさしい人たちが生活しています。人間の怖さを感じる話もあれば、温かさを感じられる話もあり、自分の生き方、考え方について改めて考えさせられます。妖怪アパートの人たちと関わる中で、主人公・夕士の考え方が変化していく所が見所です。

この小説はシリーズものとなっており、それぞれの物語で登場する人物たちも魅力的です！皆さんの心に響く言葉やエピソードも見つかるかもしれません！ (Y. K)